

## Change

A 班 野代・藤岡・由川

### 【はじめに】

今回我々はこの二十歳のころを、『変化』というテーマで進めました。

数あるゼミの中から加藤ゼミを選択し入室試験を受け、晴れてこのゼミの一員になったという変化。これは私たち 3 人にとって大きな変化でした。さらに今までの自分を振り返ってみるとこれまで幾度となく選択と変化を繰り返し、この先の人生でも沢山の選択と変化に迫られるであろうと考えました。そしてその変化をより成功に導けるような選択にするためにこのテーマに決定しました。

そこでこれまでに『何かを変化させて成功した企業』という前提で調べると、株式会社

カカオジャパン(以下敬称略)という企業が我々のテーマに合致しました。

カカオジャパンは 2016 年にマンガアプリ「ピッコマ」をリリースし、リリースから僅か 1 年で大手出版社プロデュースのマンガアプリを抑え Appstore **電子コミックランキング第**

**2 位**、数あるアプリケーションの中で**全体ランキング第 49 位**にランクインしました。

元はカカオトークというチャットアプリで一躍有名になったカカオジャパンがどのように変化しコミックアプリでここまで成長したのか、そのような会社の指揮を執る方はどんな二十歳を過ごしていたのかカカオジャパンの代表取締役社長にお話を伺ってきました

### 【取材させていただいた方】

カカオジャパン株式会社 金在龍 代表取締役社長

### PROFILE

・ 1976 年 6 月 11 日 (41 歳)

・ 韓国 ソウル生まれ

・好きな食べ物:いちご🍓

・趣味:旅

・休日の過ごし方:映画、本

### 【インタビュー内容】

金社長の二十歳のころについて

① 一番力を入れていたこと

#### 旅

旅を通して様々な考え方や価値観に触れるうちに、自分が物事を正しい、正しくないで決めていたことに気が付いたそうです。そして様々な国の文化や差異を自分基準で判断するのではなく、違いとして認められるようになったそうです。

② 一番悩んでいたこと

#### 常にいろんなことで悩んでいた

しかし、悩むと同時に「悩むこと」＝「道を切り開くこと」と考えていて、何も生み出さない「心配」とは異なり、ポジティブなことだととらえていたそうです。

また、悩むうえで、何でも話せる「メント(助言者)」を作ることも重要だと考えていました。

③ 一番大きな変化

#### 志望大学に落ちたこと

成功ばかりのエリートでは懸念に縛られてしまうが、この失敗を経験したことでまだまだチャレンジできることに気づき、元からのポジティブな性格と結びつきチャレンジ精神が旺盛になりました。そのチャレンジ精神が日本への留学、そこでの奥様との出会いなど多くの幸せをもたらしてくれているそうです。

④ 二十歳のころの自分へのメッセージ

**大丈夫だよ。好きだよ。**

まずは自分を好きになることが大切。自信を持つことが成功へとつながる。

⑤ 座右の銘

## 勤勉誠実

意味：どんなことでも真面目にコツコツ取り組む。

当たり前のことを当たり前に行えるようにすることで、小さな『できた!』を味わい、楽しさを知る。これがもっと良くしたい、もっとやりたいという向上心を生み出すのです。

### 【おわりに】

私たちは二十歳のころを通してカカオジャパン株式会社の金社長と出会い、とても貴重なお話をお伺いすることができました。社長はとても気さくな方で我々の質問に1で答えるのではなく10で答えてくれるような素敵なお方でした。

そんな社長が二十歳のころの自分にかけて「大丈夫だよ、好きだよ。」という言葉が我々にも向けてくれました。これから先の不透明な人生に対する不安や懸念やゼミ活動をはじめとする学校生活、人生に行き詰った時には、この「大丈夫だよ」という言葉を自分にかけてながら精進していこうと思いました。

ゼミの登竜門企画であるこのインタビューで我々は大きな自信をつけることができました。インタビューから始まりプレゼンという形に完成するまでの過程で様々な事に対するモチベーションが上がっていくのがとても刺激的で良い経験になりました。

最後になりますが、今回このような機会を与えてくださった株式会社カカオジャパンの金社長、担当の松延様はじめ関係各位の皆様にご心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。